

議案関係説明資料

No.	題名	事業名	主な内容	予算額 (千円)	3本柱の取組	資料番号
1	公共交通事業者の事業継続を支援	公共交通輸送力増強等促進事業	市内を運行する公共交通事業者に対する支援	4,650	事業者支援	資料1
2	オンライン会議の導入	情報化管理事業	オンライン会議等の実施に向けた環境整備	2,767	感染予防	資料2
3	消費者相談の充実に向けた情報端末の整備	消費者自立・支援事業	相談時に利用可能なタブレット端末の購入等	350	生活支援	資料3
4	「市民プラザかぞ」の空調設備等を更新	市民総合会館管理運営事業	換気や空調を管理する中央監視装置システムの更新	33,000	感染予防	資料4
5	郵送による市県民税申告を実施	市県民税賦課事業	郵送による市県民税申告の実施に要する経費	799	感染予防	資料5
6	生活困窮者住居確保給付の拡充	生活困窮者住居確保給付事業	住居確保給付金算定方法の変更に伴う扶助費の増	240	生活支援	資料6
7	障がい者福祉事業従事者への支援	障害(児)者生活サポート事業	生活サポート事業等の従事者に対する慰労金の支給	1,000	感染予防	資料7
8	障がい児世帯への生活支援	障がい児発達支援(自立支援)事業	放課後等デイサービス利用者に対する支援	1,020	生活支援	資料8
9	特別誕生祝金の支給	誕生記念祝事業	国の特別定額給付金の基準日以降に出生した子どもがいる世帯に対する特別誕生祝金の支給	60,628	生活支援	資料9
10	すくすく子育て相談室におけるオンライン相談の導入	子育て総合相談事業	オンライン相談の実施に向けた環境整備	253	感染予防	資料10
11	児童館における感染症対策	子どもの居場所づくり事業	感染症対策のための保健衛生用品等の購入	1,586	感染予防	資料11
12	保育所等への支援	民間保育所助成事業	感染症対策のための保健衛生用品等の購入に対する補助及び保育士に対する慰労金の支給	9,077	感染予防	資料12
13	放課後児童健全育成室への支援	公立放課後児童健全育成事業	感染症対策及び3密回避のための環境整備及び指導員に対する慰労金の支給	4,960	感染予防	資料13
14	放課後児童健全育成室への支援	民間放課後児童健全育成事業	感染症対策及び3密回避のための環境整備及び指導員に対する慰労金の支給	6,611	感染予防	資料13
15	子ども食堂等への支援	子ども食堂支援事業	フードバンクを実施する団体に対する支援	201	生活支援	資料14
16	妊産婦への支援	妊産婦臨時特別育児等サービス助成事業	里帰り出産が困難な妊産婦の育児サービス利用に対する助成	6,240	生活支援	資料15
17	保育所等への支援	公立保育所管理運営事業	感染症対策のための保健衛生用品等の購入	2,664	感染予防	資料12
18	あすなろ園における感染症対策	あすなろ園管理運営事業	感染症対策のための保健衛生用品等の購入	739	感染予防	資料16
19	災害時要援護者の避難に係る感染症対策	災害時要援護者支援事業	福祉避難スペース等における感染症対策のための物品購入及び避難支援を担う民生委員・児童委員へのマスク等の配布	22,367	感染予防	資料17
20	オンラインによるパパママ学級の導入	妊婦保健事業	オンライン相談の実施に向けた環境整備	227	感染予防	資料18
21	医療機関への支援	新型コロナウイルス感染症医療機関支援事業	PCR検査を実施する医療機関及び地域の第二種感染症指定医療機関に対する支援	23,015	感染予防	資料19
22	子どものインフルエンザ予防接種を助成	予防接種事業	中学生以下の子どもに対するインフルエンザ予防接種費用の助成	30,319	感染予防	資料20

No.	題名	事業名	主な内容	予算額 (千円)	3本柱の取組	資料番号
23	こころの健康相談の充実	こころの健康づくり事業	新型コロナウイルス感染症の不安を軽減するためのこころの健康相談の実施	119	生活支援	資料21
24	新型コロナ感染症の早期発見対策	新型コロナウイルス感染症予防対策事業	PCR検査等への助成及び体温感知機器等の購入	7,961	感染予防	資料22
25	リサイクル推進員等にマスクを配布	リサイクル協働事業	リサイクル推進員等へのマスクの配布	2,645	感染予防	資料23
26	全世帯にマイバッグを配布	食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業	全世帯へのマイバッグの配布	17,248	生活支援	資料24
27	「いなほの湯」指定管理者への支援	健康ふれあいセンター管理運営事業	いなほの湯指定管理者に対する支援	2,000	事業者支援	資料25
28	水道の基本料金4箇月免除を8箇月延長して1年間無料化	水道事業会計繰出事業	水道基本料金免除の延長実施に伴う水道事業会計に対する繰出	203,200	生活支援	資料26
29	感染防止に取り組む農業者の経営継続を支援	農作物災害対策事業	経営継続補助金を活用する農業者に対する支援	35,098	事業者支援	資料27
30	事業者の感染症対策に10万円を補助	「新しい生活様式」取組事業所応援事業	「新しい生活様式」に取り組む事業者に対する支援	102,588	事業者支援	資料28
31	ちょこっとおたすけ絆サポート券を全世帯に配布	ちょこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業	ちょこっと絆サポート券の全世帯配布に要する経費	288,362	事業者支援	資料29
32	加須市うどんガイドマップ作製	「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし事業	うどんガイドマップの作成に要する経費	5,451	事業者支援	資料30
33	「加須市観光サイクリング」のブランド化	物産観光協会支援事業	「加須市観光サイクリング」のブランド化に向けた物産観光協会に対する支援	19,900	事業者支援	資料31
34	避難場所における感染症対策	避難所整備事業	災害時避難場所における感染症対策のための物品購入等	20,324	感染予防	資料32
35	自主防災組織における感染症対策	自主防災活動組織育成・支援事業	自主防災組織へのマスク、消毒液等の配布	8,481	感染予防	資料33
36	修学旅行等のキャンセル料を支援	学校教育管理事業	修学旅行等を中止・延期した場合の負担金の補助	8,312	生活支援	資料34
37	学校の牛乳保冷庫の更新	小学校管理運営事業	牛乳保冷庫の更新	3,069	感染予防	資料35
38	小中学校の空調設備の更新	小学校施設整備事業	保健室及び職員室等の空調設備の交換工事	40,322	感染予防	資料36
39	学校の牛乳保冷庫の更新	中学校管理運営事業	牛乳保冷庫の更新	1,305	感染予防	資料35
40	小中学校の空調設備の更新	中学校施設整備事業	保健室及び職員室等の空調設備の交換工事	18,643	感染予防	資料36
41	業務委託による幼稚園教諭の増員	公立幼稚園管理運営事業	感染症対策及び3密回避のための幼稚園教諭の増員	12,982	感染予防	資料37
42	成人式の分散開催	成人式開催事業	成人式の開催方法の変更に要する経費	607	感染予防	資料38
43	文化・学習センター使用料の還付と「キャッスルきさい」の空調設備等の更新	文化・学習センター管理運営事業	令和元年度納入済分の施設使用料の還付等に要する経費	3,950	感染予防	資料39
44	北川辺診療所医療従事者への支援	一般管理事業	新型コロナウイルス感染症対応医療従事者に対する慰労金の支給	500	感染予防	資料40

公共交通事業者の事業継続を支援

～地域公共交通の維持～

総合政策部政策調整課

交通弱者の移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている交通事業者の事業継続を支援

■ 事業名

公共交通輸送力増強等促進事業

■ 目的

地域の公共交通を支えている交通事業者について、新型コロナウイルス感染症の影響による各種施設の休業や外出自粛の要請により、利用者の減少など大きな影響を受けていることから、事業の継続に向けた支援を行い、交通弱者の移動手段を確保するものです。

■ 補正予算の概要

（１）支給対象

市内を運行する公共交通事業者

①路線バス会社

②市内に営業所を有するタクシー会社（①の対象となる事業者を除く。）

（２）支給額

①算定基礎額※ × 1/2 × $\frac{\text{加須市域内の走行距離}}{\text{当該路線の総走行距離}}$
（１路線につき上限 100 万円）

②算定基礎額※ × 1/2（上限 100 万円）

※算定基礎額

令和２年と前年の同月を比較し、最も売上（運賃収入）の減少が大きい
任意の月の減少額の 3 箇月分

（３）予算の内訳

事業費 4,650 千円

①路線バス会社 1,000 千円 × 1 路線 + 650 千円 × 1 路線 = 1,650 千円

②市内に営業所を有するタクシー会社

1,000 千円 × 3 事業者 = 3,000 千円

■ 補正予算額 4,650 千円

オンライン会議の導入

～感染予防と行政サービスの維持～

総合政策部業務改善課

新型コロナ感染予防のため、オンライン会議を活用

■ 事業名

情報化管理事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大下において、人が集合することで生じる「密閉」、「密集」、「密接」のいわゆる3密を回避しつつ、本庁・支所間の連絡調整や外部関係者との会議等の行政活動の維持・継続を図るため、オンライン会議等を導入するための環境整備を行うものです。

また、災害発生時においては、遠隔地からでも会議への参加が可能となることにより、災害対策本部と現場との緊密な連絡調整を実現します。

■ 補正予算の概要

- (1) オンライン会議用機器 1, 593千円
 - PC端末、マイク、スピーカー、無線アクセスポイント等 各5台
 - ライセンス使用料 5台分
- (2) 取得機器の設定及び既存機器の設定変更 1, 078千円
- (3) インターネットアクセス回線利用料等 96千円
 - インターネットアクセス回線、プロバイダなどの利用料等

■ 補正予算額 2, 767千円

消費者相談の充実に向けた情報端末の整備

～消費者のくらしの安全確保～

市民相談室

新型コロナウイルス感染症の影響により複雑化している相談に対応するため、
情報収集用のタブレット型PCを購入

■ 事業名

消費者自立・支援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、消費生活センターへの相談内容が複雑化するとともに、だましの手口が巧妙化している現状があります。

こうした状況に対応し、相談しながら最新の情報を入手し、更なる消費者相談の充実を図るため、タブレット型のPCを購入するものです。

■ 補正予算の概要

備品購入費

○タブレット型PC・プリンター 各1台 329,890円

○無線LAN端末 1台 19,800円

■ 補正予算額 350千円

「市民プラザかぞ」の空調設備等を更新

～感染予防と公共施設の整備～

総合政策部市民協働推進課

館内の換気機能の安定的な稼働により、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、耐用年数を超過した中央監視装置システムを更新

■ 事業名

市民総合会館管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、新しい生活様式の中で「こまめな換気」の実践が求められており、空調機能、特に換気機能の安定的な稼働は、安全に施設を利用するために備えるべき最も重要な感染予防対策です。

「市民プラザかぞ」では、中央監視装置システムにより館内の空調機能を管理し、自動的に換気を行っていますが、同システムは、導入から16年が経過し、耐用年数（概ね10年）を超過しているため、部品の供給等が終了しており、不具合が発生した場合の復旧は困難な状況にあります。

また、「市民プラザかぞ」は水害時避難場所として指定されたことから、当該システムは、災害時の避難場所における感染予防対策としても重要なものとなります。

そこで、館内の換気機能の安定的な稼働を図るため、中央監視装置システムの一括更新を行うものです。

■ 補正予算の概要

（１）システム更新の概要

- ① 熱源、空調、外調機等を制御する自動制御装置の更新
- ② 中央監視装置既設盤改造更新
- ③ 計装工事（直接労務費、盤搬入費、廃材処理費等）

（２）システム更新作業期間

契約から完成まで7カ月程度

※システム更新作業期間中も施設は通常どおり開館

■ 補正予算額 33,000千円

郵送による市県民税申告を実施

～感染予防と行政サービスの維持～

総務部税務課

新型コロナ感染症予防のため、来年2月からの市県民税申告について
郵送による受付を実施

■ 事業名

市県民税賦課事業

■ 目的

市県民税申告（確定申告）の会場は、毎年大変に混雑し、3密状態になることから、新型コロナウイルス感染症対策として、来年1月に配布予定の市県民税の申告書に返信用封筒を同封することにより、来年2月から始まる市県民税の申告については、郵送による提出を促します。

なお、対面での申告等を望まれる方については、申告会場に手指消毒液を設置するほか、職員等がフェースシールドを装着するなど、感染対策を徹底します。

■ 補正予算の概要

（1）対象者

市県民税申告 約8,500人

（2）予算の内訳

郵送料 94円 × 8,500人 = 799千円

■ 補正予算額 799千円

生活困窮者住居確保給付の拡充

～生活困窮者への支援～

福祉部生活福祉課

住居を失うおそれがある生活困窮者に対する住居確保給付に係る算定方法を緩和

■ 事業名

生活困窮者住居確保給付事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大による収入減少により、住居を失うおそれがある生活困窮者を支援するため、令和2年4月20日から住居確保給付金の支給対象を拡大しましたが、更なる困窮支援対策として住居確保給付金の算定方法が見直されました。

これまでの算定方法は、生活保護の住宅扶助基準額を使用していましたが、令和2年7月1日からは、実際に契約している家賃額を使用し、支給金額を増額することにより、生活困窮者の自立支援を強化します。

■ 補正予算の概要

6,000円（算定方法緩和による影響額）×5件×8箇月（支給期間）＝240,000円

■ 補正予算額 240千円 【国庫補助金】

財政負担：国3/4（生活困窮者自立支援国庫負担金）

障がい者福祉事業従事者への支援

～エッセンシャルワーカー支援～

福祉部障がい者福祉課

新型コロナ感染拡大下にあっても障害福祉サービス等の提供体制を維持している生活サポート事業等従事者へ慰労金を給付

■ 事業名

障害（児）者生活サポート事業

■ 目的

障害福祉事業従事者は、新型コロナウイルスの感染拡大下にあっても障害福祉サービス等の提供体制を維持し、強い使命感を持って業務に従事しています。

障害福祉サービス施設・事業所従事者には国から慰労金が支給されますが、県や市事業である生活サポート事業、地域活動支援センター事業従事者は対象外となるため、市から慰労金（1人当たり現金1万円）を給付するものです。

■ 補正予算の概要

（1）給付対象施設・事業所

- | | |
|-------------------------------|-----|
| ①市内に事務所を有する生活サポート事業のサービス提供事業所 | 6箇所 |
| ②市内の地域活動支援センター | 1箇所 |

（2）給付対象者数（見込み）

- | | |
|-------------|------|
| ①生活サポート事業 | 90名 |
| ②地域活動支援センター | 10名 |
| 合計 | 100名 |

※①②を実施する法人において、障害福祉サービス施設・事業所を合わせて運営している場合、国の慰労金事業の対象となる者は除く。

（3）予算の内訳

1万円 × 100人 = 1,000千円

■ 補正予算額 1,000千円

障がい児世帯への生活支援

～障がい者の日常生活への支援～

福祉部障がい者福祉課

新型コロナウイルス感染症の影響による特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用者への支援

■ 事業名

障がい児発達支援（自立支援）事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後等デイサービスの利用者が通う小・中・高等学校や特別支援学校が臨時休業になったことに伴い、当該サービスを利用する機会が増えるとともに、通所ではなく在宅での支援を実施する事業所が多いことから、これらの利用者負担額について補助するものです。

■ 補正予算の概要

（１）補助対象となる放課後等デイサービス利用者負担

- ① 在宅での支援利用分
- ② 学校の臨時休業に伴い増加した利用分
- ③ 通常単価から休業日単価となった差分
- ④ 通常の営業時間外の利用分

（２）対象とする期間

- ① 令和２年４月分から６月分までの３箇月分
 - ② 今後想定される第２波により再び臨時休業になった場合の３箇月分
- 合計６箇月分

（３）予算の内訳

１箇月 170 千円※ × ６ヶ月 = 1,020 千円

※令和２年３月分実績に基づく

■ 補正予算額 1,020 千円 【県補助金】

財政負担：県 3/4 特別支援学校等臨時休業に伴う放課後デイサービス支援事業費補助金

特別誕生祝金の支給

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

新生児のいる子育て世帯の生活を支援するため、特別誕生祝金を支給

■ 事業名

誕生記念祝事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活費が増加している子育て世帯を支援するため、国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた新生児一人につき、従来の「絆サポート券」1万円分の支給に加え、特別定額給付金と同額の特別誕生祝金10万円を支給するものです。

■ 補正予算の概要

（１）支給対象

次のいずれにも該当する場合

- ①令和2年4月28日以降に加須市に住民登録した新生児
- ②誕生日は令和3年3月31日まで
- ③申請日まで継続して本人及び新生児の住民登録が加須市にある方

（２）支給金額

期間内に生まれた新生児一人につき10万円

（３）予算の内訳

- 会計年度任用職員人件費、郵便料等 628,000円
- 給付金 600人分 60,000,000円

■ 補正予算額 60,628千円

すくすく子育て相談室におけるオンライン相談の導入

こども局子育て支援課

新型コロナ感染予防のため、すくすく子育て相談室において、オンライン相談を導入

■ 事業名

子育て総合相談事業

■ 目的

子育ての相談は、母子と対面・接触しながら行うため、新型コロナウイルス感染症対策が必要となります。現在は、対面のほか、電話やメールでの相談も実施していますが、感染症対策や来所できない方への相談手段として、オンラインでの相談が実施できるよう、令和2年度子ども・子育て支援交付金の「新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した相談支援体制強化事業」を活用し、必要な環境を整備します。

■ 補正予算の概要

（１）事業概要 子育て総合相談事業（すくすく子育て相談室）

妊娠から出産、子育てに関する不安・疑問などの相談に応じ、切れ目のない支援を行う事業

（２）整備内容

- カメラ・ヘッドホン付きパソコン
- 無線LAN初期設定費用及び通信料
- パーティション

■ 補正予算額 253千円 【国庫補助金・県補助金】

財政負担：国 1/3 子ども・子育て支援交付金

県 1/3 利用者支援事業補助金

児童館における感染症対策

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

新しい生活様式を踏まえ、児童館に感染症対策用品を整備

■ 事業名

子どもの居場所づくり事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症対策のため、児童館（加須児童館、花崎児童館、利根川こども館）に感染症対策用品を購入するものです。

■ 補正予算の概要

- 除菌ボックス 3 台
- 職員用エプロン 26 着
- 除菌タオル 6 セット
- 消毒液 6 セット
- 自動手指消毒器 3 台
- 暑さ指数計測機能付温度計 3 台
- 扇風機 3 台
- スポットクーラー 3 台
- 掃除機 3 台
- フェイスシールド 3 セット

■ 補正予算額 1, 5 8 6 千円

保育所等への支援

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局保育幼稚園課

保育所・認定こども園における感染症対策用品の整備と民間保育園、幼保連携型認定こども園の保育士への慰労金の支給

■ 事業名

- ① 民間保育所助成事業
- ② 公立保育所管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、保育士及び関係職員の支援、感染拡大防止、子供を安心して育てることができる環境整備を目的とした、県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染防止に必要となる保健衛生用品等を整備するとともに、感染拡大が続く中、感染リスクを抱えながら医療従事者等の児童受け入れのために、引き続き保育を実施していただく民間保育園、認定こども園の保育士に対し、慰労金（1人当たり1万円）を支給するものです。

■ 補正予算の概要

（1）感染症対策用品の整備

民間の保育園・認定こども園に対しては補助金を交付し、公立の保育所に対しては購入費の予算を計上します。

- ① 民間保育所助成事業 5,527千円（1園当たり上限500千円）
○購入品 消毒液、マスク、空間除菌機等
- ② 公立保育所管理運営事業 2,664千円（1園当たり上限500千円）
○購入品 ゴム手袋、ハンドソープ、園児用テーブル等

【財源：県 10/10 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金】

（2）新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の支給

- ① 民間保育園、認定こども園の保育士に対する厚生費補助金の増額
 $10,000円 \times 355人 = 3,550千円$

■ 補正予算額 ① 9,077千円 【県補助金】

② 2,664千円 【県補助金】

放課後児童健全育成室への支援

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

放課後児童健全育成室における感染症対策用品の整備と感染リスクを抱えながら保育を実施する指導員に慰労金等の支給

■ 事業名

- ① 公立放課後児童健全育成事業
- ② 民間放課後児童健全育成事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の影響の中で、「新しい生活様式」を踏まえ、感染症予防対策を行う備品等と、「3密」を回避するため、教室協の多目的スペースの有効活用を行うことから、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、環境整備を行います。

また、放課後児童クラブに勤務する指導員は、強い使命感のもと、社会生活を維持するため、感染リスクを抱えながら学童保育を実施している公立の常勤指導員には、「ちょこっとおたすけ絆サポート券」（1人当たり1万円分）を配付し、民間の常勤指導員には、慰労金（1人当たり現金1万円）を支給するものです。

■ 補正予算の概要

（1）新型コロナウイルス感染症対策

①公立 4,310 千円

〔ホットカーペット、座卓、スノコ、網戸、パーテーション、児童手指消毒器、暑さ指数計測機能付温度計、職員用エプロン〕

②民間 5,971 千円

〔マスク、消毒液、エプロン、透明ビニールシート、ポシエット、食器衝動保管庫、ペーパータオル、手指洗浄機、エアコンフィルター清掃等〕

【財源：県 10/10 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金】

（2）指導員慰労金等

①公立 650 千円（絆サポート券：1人当たり1万円分）

②民間 640 千円（現金：1人当たり1万円）

■ 補正予算額 ① 4,960 千円 【県補助金】

② 6,611 千円 【県補助金】

子ども食堂等への支援

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

新型コロナ感染症が拡大する中においても、子どものために活動を継続している子ども食堂等を支援

■ 事業名

子ども食堂支援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の影響の中で、ひとり親等に食材を配布するフードパントリーは、回数を増やして実施しており、また、こども食堂は活動休止に替え、ひとり親世帯等にお弁当を配布する活動を行っています。

「新しい生活様式」を踏まえた上で、子どもの貧困対策や食品ロス削減のため、子ども食堂等の活動に必要な支援を行います。

■ 補正予算の概要

○備品購入 上開冷凍庫、低温貯蔵庫

■ 補正予算額 201千円

妊産婦への支援

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

新型コロナウイルスの影響により、里帰り出産が困難な妊産婦に対する
育児等支援サービスの利用料を助成

■ 事業名

妊産婦臨時特別育児等サービス助成事業

■ 目的

新型コロナウイルスの影響で、予定していた里帰り出産が困難となった妊産婦に
育児等支援サービスの利用に係る費用を助成します。

■ 補正予算の概要

（１）主な対象サービス

- 子育て短期預かり
- 産後支援ヘルパー派遣
- 産後ケア
- ベビーシッター
- NP0 が行う産前産後のお手伝い など

※上記の利用に係る費用を助成

1 箇月当たり 40,000 円を上限に 6 箇月まで、最大で 240,000 円

（２）予算の内訳

新型コロナウイルス対策育児等支援サービス助成金 6,240 千円
40,000 円／月（上限）×延べ 156 人分

■ 補正予算額 6,240 千円 【国庫補助金】

財政負担：国 1/2（母子保健衛生費国庫補助金）

あすなろ園における感染症対策

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局保育幼稚園課

あすなろ園（簡易通園母子訓練施設）における感染症予防のため、保健衛生用品等を購入

■ 事業名

あすなろ園管理運営事業

■ 目的

あすなろ園における新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、感染拡大防止や子供を安心して保育することができる環境を整備するため、感染防止に必要な保健衛生用品等を購入するものです。

■ 補正予算の概要

保健衛生用品の購入

○自動手指消毒器、ハンドソープ、除菌 BOX 等 739 千円

■ 補正予算額 739千円

災害時要援護者の避難に係る感染症対策

～感染予防と災害対応～

福祉部地域福祉課

福祉避難スペース等への簡易ベッド等の配備及び民生委員・児童委員による避難支援時の感染症対策用品の配付

■ 事業名

災害時要援護者支援事業

■ 目的

災害時における災害時要援護者への新型コロナウイルス感染症対策を図るため、災害時に開設する各避難場所に整備する福祉避難スペース等（51 箇所）に簡易ベッド等の備品を配備します。

また、災害時要援護者の避難支援を担う民生委員・児童委員の新型コロナウイルス感染症対策にマスク等の消耗品等を配付します。

■ 補正予算の概要

（１）各避難場所に整備する福祉避難スペース等での感染症対策を図るための備品

購入に要する経費 18,310千円

○段ボールベッド	@9,200円×300台×1.1=3,036,000円
○感染症対策用テント	@12,300円×800組×1.1=10,824,000円
○パーテーション	@121円×600枚×1.1=79,860円
○安心トイレ（手すり付き簡易トイレ）	@22,000円×70組×1.1=1,694,000円
○安心トイレ用テント	@29,000円×70組×1.1=2,233,000円
○トイレ用交換用ユニパット（5枚入）	@1,150円×350組=442,750円

（２）民生委員・児童委員による避難支援時の感染症対策用消耗品等購入に要する

経費 4,057千円

○マスク（50枚入）	@2,000円×1箱 ×236人×1.1=519,200円
○消毒液	@3,000円×236人×1.1=778,800円
○使い捨て薄手ゴム手袋（消毒用）	@580円×236人×1.1=150,568円
○ダスター（消毒用）	@856円×236人×1.1=222,217円
○フェイスシールド（50枚入）	@7,000円×15組×1.1=111,500円
○ビニール合羽	@250円×3枚×236人×1.1=194,700円
○非接触型体温計（1個）	@8,000円×236人×1.1=2,076,000円

■ 補正予算額 22,367千円

オンラインによるパパママ学級の導入

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

健康医療部健康づくり推進課

新型コロナ感染症対策として、妊婦が自宅にしながら参加できる教室を開催

■ 事業名

妊婦保健事業（パパママ学級）

■ 目的

新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染を恐れて参加をためらう妊婦の参加機会の確保のため、オンラインによるパパママ学級を導入します。

■ 補正予算の概要

妊婦とそのパートナーや祖父母となる方々を対象に、出産・育児の知識や技術を提供する「パパママ学級」の開催方法として、従来の対面による集団講義のほか、オンラインによる講義を導入します。

【パパママ学級の種類、開催方法】

- 知識編（助産師の講話など）は、オンラインで実施します。
- 実践編（新生児の沐浴体験、パパの妊婦体験など）は、感染拡大状況に応じて、オンラインに切り替えて実施します。
- パソコン（1台）、Wi-Fi接続機器、回線使用料

■ 補正予算額 227千円【国庫補助金】

財政負担：国 1/2 新型コロナウイルス感染症流行下における妊産婦総合対策事業

医療機関への支援

～地域における医療提供体制の確保・維持～

健康医療部医療体制推進課

PCR検査や新型コロナウイルス感染症患者の入院を受入れている医療機関を支援

■ 事業名

新型コロナウイルス感染症医療機関支援事業

■ 目的

市民が安心できる地域医療体制を維持するため、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、通常の診療に加え、PCR検査を実施している市内医療機関や感染症病床において新型コロナウイルス感染症患者の入院を受入れている本地域の第二種感染症指定医療機関を支援します。

■ 補正予算の概要

（１）PCR検査を行っている市内医療機関への支援（看護師人件費分の補助）
 $2,500 \text{ 円} \times 1 \text{ h} \times 2 \text{ 人} \times 223 \text{ 日} = 1,115 \text{ 千円}$

（２）新型コロナウイルス感染症患者の入院を受入れている医療機関への支援（看護師人件費分の補助）
 $2,500 \text{ 円} \times 24 \text{ h} \times 1 \text{ 人} \times 365 \text{ 日} = 21,900 \text{ 千円}$

■ 補正予算額 23,015千円

子どものインフルエンザ予防接種を助成

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

健康医療部健康づくり推進課

インフルエンザの感染予防により、新型コロナ感染症との同時感染によるリスクを軽減するため、中学3年生までのインフルエンザ予防接種費用を助成

■ 事業名

予防接種事業

■ 目的

インフルエンザ感染予防により、新型コロナウイルス感染症との同時感染による重症化や、医療機関受診者の増大による医療崩壊等のリスクを軽減するため、中学3年生のインフルエンザ予防接種費用に加え、令和2年度に限り、対象を0歳から中学2年生に拡大し、インフルエンザ予防接種費用（1回分）を助成します。

■ 補正予算の概要

（1）対象者

0歳から中学3年生まで(R2.7.1現在 13,038人)

（2）実施方法

令和2年度に限り、自己負担額1,000円で1回分助成

（3）実施時期

令和2年10月20日から令和3年1月31日まで

（4）接種場所

市内の委託医療機関

（5）予算の内訳

○委託料 ・ 予防接種委託料 29,841千円

○会計年度任用職員報酬 478千円

■ 補正予算額 30,319千円

こころの健康相談の充実

～感染症による心理的な不安を軽減～

健康医療部健康づくり推進課

新型コロナウイルス感染症の不安を軽減するため、公認心理士によるこころの健康相談の回数を増やして実施

■ 事業名

こころの健康づくり事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症による、生活面や経済面等の心理的な不安を軽減するため、公認心理士によるこころの相談について、回数を増やして実施します。

■ 補正予算の概要

（１）相談回数

月１回の公認心理士の相談を月２回とします。

（２）場所

市内４箇所の各保健センター

（３）対象・人数

加須市に住民票のある者 １回当たり２名（予約制）

（４）内容

精神科医師による相談（医療に関すること、受診の必要性についての判断や助言等）と公認心理士による相談（不安や悩みをカウンセリング技法を用いて自己解決に導くなど）のうち、公認心理士の相談の回数を増やします。

（５）予算の内訳

心理士謝金 ７回分 17,000 円×７回＝119,000 円

■ 補正予算額 119 千円【県補助金】

財政負担：県 1/2 自殺対策強化事業補助金

新型コロナ感染症の早期発見対策

～早期発見による感染症拡大防止～

健康医療部健康づくり推進課

新型コロナ感染症の早期発見により感染症の拡大を防止するため、PCR検査費用等を助成するとともに、チラシによる啓発等を実施

■ 事業名

新型コロナウイルス感染症予防対策事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症について、早期発見により、感染拡大を防止するため、市立施設において集団感染のおそれがある場合の子どものPCR検査費用を負担するほか、PCR検査等に付帯するCT検査等を助成する等の支援策を講じます。

また、各施設や事業などにおける感染症対策のため、体温感知システムやフェースシールドを購入するとともに啓発チラシを作成し、予防策を講じます。

■ 補正予算の概要

No.	項 目	内 容	予算 (千円)
1	保健所や医師の判断によらない PCR検査（保険適用外）であつて必要と認められるもの	PCR検査の費用 （園児、児童生徒 100 人分）	2,500
2	PCR検査・抗原検査に付帯する CT検査等	CT検査等の費用 （助成率 10/10 ただし、5 千円を上限）	3,540
3	体温感知システム	体温感知機器 4 台	880
4	フェースシールド	400 枚	62
	除菌アルコールシート	500 セット	383
	台車（消毒液、マスク等運搬用）	1 台	19
5	「新しい生活様式」啓発チラシ	45,000 枚	396
	「新しい生活様式」啓発ポスター	200 枚	181

■ 補正予算額 7,961 千円

リサイクル推進員等にマスクを配布

～エッセンシャルワーカー支援～

環境安全部資源リサイクル課

ごみ分別指導等を行うリサイクル推進員等の感染症予防のため、マスクを配布

■ 事業名

リサイクル協働事業

■ 目的

新型コロナウイルスの感染が懸念される中であっても、地域の生活環境保全のためには、ごみ収集の継続が必要です。

感染リスクが生じているエッセンシャルワーカーへの支援の一環として、一般家庭から排出されるごみ集積所等においてごみ分別指導等を行うリサイクル推進員等に対し、マスクを配布するものです。

■ 補正予算の概要

（１）支援対象

リサイクル推進員 844 人

ごみ分別指導等当番（リサイクル推進協力会 179 団体を通して支援）

（２）配布数 60,100 枚（50 枚入り 1,202 箱）

リサイクル推進員 844 人 ×1 箱＝844 箱

リサイクル推進協力会 179 団体×2 箱＝358 箱

（３）予算の内訳

1,202 箱×2,000 円×1.1＝2,644,400 円

■ 補正予算額 2,645 千円

全世帯にマイバッグを配布

～市民生活の支援と環境対策～

環境安全部資源リサイクル課

新型コロナ感染症の影響によるステイホーム（外出自粛）に伴う買い物負担の支援及びレジ袋削減のため、マイバッグを配布

■ 事業名

食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、自炊のための食料品やトイレットペーパーなど生活必需品の購入、テイクアウトの利用など、ステイホームに伴う買い物が増加しています。

また、令和2年7月1日からプラスチックごみ削減を目的として、レジ袋の有料化が開始され、家計への負担は増加しています。

そこで、ステイホームに伴う買い物の際の負担を支援するとともに、持続可能な社会を構築するためのレジ袋の削減のため、全世帯に加須市オリジナルのマイバッグを配布するものです。

■ 補正予算の概要

（１）支援対象数（作成数）

全世帯（49,000 枚）

（２）配布方法

リサイクル推進協力会を通した全世帯配布

（３）予算の内訳

マイバッグ：（@220 円＋100 円（名入れ））×49,000 枚×1.1＝17,248 千円

■ 補正予算額 17,248 千円

「いなほの湯」指定管理者への支援

～感染予防と公共施設の整備～

環境安全部資源リサイクル課

「いなほの湯」の臨時休館中の施設の維持管理や、再開後の新型コロナウイルス感染症対策を実施した指定管理者を支援

■ 事業名

健康ふれあいセンター管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、健康ふれあいセンター「いなほの湯」については、市の要請により、令和2年3月10日から6月16日まで臨時休館としました。

その間、入館料収入等が無くなる中、営業再開のための施設の維持管理や再開後の新型コロナウイルス感染症対策を行っていることから、当該施設の指定管理者を支援するものです。

■ 補正予算の概要

（１）支援対象

加須市健康ふれあいセンター「いなほの湯」指定管理者
「株式会社クリーン工房」

（２）予算の内訳

委託料：2,000千円

■ 補正予算額 2,000千円

水道の基本料金 4 箇月免除を 8 箇月延長して 1 年間無料化

上下水道部水道課

水道の基本料金免除を更に 8 箇月（9 月請求分から 4 月請求分まで）延長し、水道基本料金を 1 年間無料化

■ 事業名

水道事業会計繰出事業（一般会計）

■ 目的

緊急事態宣言解除後、段階的に経済活動が再開しましたが、未だに収入の減少等、新型コロナウイルス感染症が市民生活に与えている影響が大きいことから、市民や事業者などへの生活支援として既に実施している水道基本料金免除（5 月請求分～8 月請求分）を更に 8 箇月（9 月請求分～4 月請求分）延長し、水道基本料金を 1 年間無料（官公庁等除く。）とするものです。

■ 補正予算の概要

本件による水道事業会計の減収分は、一般会計から水道事業会計へ繰り出します。

区分	基本料金免除対象月	対象者	繰出（免除）額等
当初分	【令和 2 年度】 5 月～8 月請求分	全水道使用者 約 49,000 戸 （官公庁等除く）	101,600 千円 （水道事業会計 内部留保資金）
延長分	9 月～12 月請求分 1 月～3 月請求分		203,200 千円 （一般会計からの繰出金）
	【令和 3 年度】 4 月請求分		

■ 補正予算額 203,200 千円

	事業名等	歳入	歳出	備考
一般会計	水道事業会計繰出事業	—	203,200 千円	繰出金
水道事業会計	款 水道事業収益 項 営業収益	▲177,800 千円	—	給水収益（水道料金）
	款 水道事業収益 項 営業外収益	177,800 千円	—	他会計補助金

※一般会計繰出金 203,200 千円と水道事業会計 177,800 千円との差額 25,400 千円は、令和 3 年度 4 月請求分の水道基本料金のため、令和 3 年度水道事業会計に繰り入れる予定

感染防止に取り組む農業者の経営継続を支援

～感染予防と農業振興～

経済部農業振興課

新型コロナ感染症対策を行いつつ、経営継続に向けた取組を行う農業者を支援

■ 事業名

農作物災害対策支援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大は、多くの農業者の経営に深刻な影響を及ぼしている状況にあることから、農業者の経営の回復・継続に向けた支援として、感染拡大防止対策を行いつつ、販路の回復・開拓、生産・販売方法の確立・転換などの経営継続に向けた農業者の取組を支援するため補助金を交付するものです。

■ 補正予算の概要

（１）補助対象者

国の経営継続補助金の交付が決定した者 100 人（交付決定見込み数）

（２）補助率

農家負担分の 1/2 の補助

（補助対象経費 － 国庫補助金※） × 1/2 （上限額 100 万円）

※国庫補助金

経営継続に関する取組：補助率 3/4 （上限額 100 万円）

感染拡大防止の取組：補助率 定 額 （上限額 50 万円）

■ 補正予算額 35,098 千円

事業者の感染症対策に 10 万円を補助

～感染予防と事業者支援～

経済部産業振興課

「新しい生活様式」の一環として新型コロナウイルス感染症対策に取り組む市内事業者に対して、最大 10 万円を補助

■ 事業名

「新しい生活様式」取組事業所応援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症と共存する「新しい生活様式」に取り組む事業者を支援することによって、感染症の拡大を防止するとともに、市内経済の活性化を図るものです。

■ 補正予算の概要

（１）対象事業者

市税の滞納がなく、継続的に事業活動を営んでいる市内に本店を有する法人又は市内に住所を有する個人事業主

（２）補助率及び補助額

10 分の 10（10 万円を超える場合は、10 万円）

ただし、1,000 円未満の端数がある場合は、これを切り捨てる。

（３）対象経費

新型コロナウイルス感染予防対策に取り組むために必要な経費

〔例：事業所内を換気するための換気扇又は窓の設置、非接触型自動水栓（蛇口）又は非接触型消毒機器の設置、ウイルス除去機能が搭載された空気清浄機又はオゾン・イオン発生器、WEB 会議等に対応した PC 一式等〕

（４）対象期間

令和 2 年 4 月 1 日（水）～令和 2 年 12 月 31 日（木）に実施した取組

（５）受付期間

令和 2 年 9 月 14 日（月）～令和 3 年 2 月 26 日（金）の間に 1 回限り

（６）予算の内訳

○補助金 100,000 千円

○人件費その他事務経費 2,588 千円

■ 補正予算額 102,588 千円

ちよこっとおたすけ絆サポート券を全世帯に配布

～経済の活性化と市民生活の支援～

経済部産業振興課

市内経済の活性化及び市民の家計支援のため、全世帯に「ちよこっとおたすけ絆サポート券」5,000円分を配布

■ 事業名

ちよこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げ等が大幅に落ち込んでいる市内店舗を支援し、市内経済の活性化を図るとともに、市民の家計負担の軽減を図るため、全世帯（約48,000世帯）に「ちよこっとおたすけ絆サポート券」を配布するものです。

■ 補正予算の概要

（1）絆サポート券

5,000円×48,500冊

（2）配布方法

簡易書留による全世帯配布（郵便局と調整中）

（3）利用可能期間

令和2年10月1日（木）～令和3年2月28日（日）

（4）利用可能店

絆サポート券取扱店（R2.7月末631店舗、随時拡充予定）

（5）予算の内訳

○交付金 242,500千円（絆サポート券5,000円×48,500冊）

○消耗品費 396千円（宛名シール等）

○印刷製本費 1,715千円（封筒印刷等）

○補助金 15,716千円（換金等の事務経費として商工会へ）

○委託料 3,425千円（封入封緘等）

○郵送料 24,610千円（全世帯配布簡易書留）

■ 補正予算額 288,362千円

加須市うどんガイドマップ作製

～市の魅力発信と産業の活性化～

経済部観光振興課

埼玉県内随一「加須うどん」について、特集ガイドマップを作成し、全国にPRすることにより、地域経済を活性化

■ 事業名

「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし事業

■ 目的

本市では、6月25日を「加須市うどんの日」と定め、市の伝統的なうどんの食文化についての市民の関心と理解を深め、市民、事業者、関係機関及び関係団体と市が協働して、様々な取り組みを行っています。

こうした中、加須市のうどんに特化したガイドブック「るるぶ特別編集加須」を作成し、加須市の名物であるうどんの魅力を全国に向けて発信するとともに、うどんによる地域の賑わいの創出及び地域経済の活性化を図るものです。

■ 補正予算の概要

（１）ガイドマップの掲載内容

平成28年度に作製した「るるぶ特別編集加須」を改訂し、「加須うどん」を特集したガイドマップとするもので、加須手打うどん会加盟店を含め約60店舗ある、市内のうどんを提供する全ての店舗を取材し、店舗情報を掲載します。

（２）仕様

ガイドマップに掲載する店舗の取材は、ガイドマップの企画・編集・制作を行う事業者（事業請負者）で行います。

作成したガイドブックについては、東武伊勢崎線沿線の商業施設等へ配架し、広範囲に「加須のうどん」をPRします。

（３）成果品

ガイドブック 50,000部及び電子データ（CD等のメディアによる）

（４）実施期間

令和2年9月中旬から令和3年2月末まで

■ 補正予算額 5,451千円

「加須市観光サイクリング」のブランド化

～新たな観光様式の推進～

経済部観光振興課

「加須市観光サイクリング」にブランド化により、年間を通した観光資源として効果的なPRを行い、観光客の誘客を促進

■ 事業名

物産観光協会支援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい観光様式の推進が必要となり、新たな観光様式としてサイクリングは推奨されていることから、「加須市観光サイクリング」を年間を通した観光資源として捉え、サイクリングによる観光客の誘客を図ります。

これまで開催していた「かぞ観光サイクリングラリー」と組み合わせ、サイクリングイベントを拡充し、「サイクリングのまちかぞ」の実現に向けた第一歩として、新たな目線での観光資源の掘り起こしや、観光コンテンツの創出、年間を通して使用可能なサイクリングMAP等の制作を行い、「加須市観光サイクリング」のブランド化を推進します。

■ 補正予算の概要

（１）事業実施期間

令和２年９月中旬～令和３年２月末

（２）内容

○サイクリングイベントの開催

「恋のぼりサイクリングフェスタ（仮）」の開催（２月開催予定）

※「新しい生活様式」の実践を意識し開催する。

○ネーミング・ロゴ作成（仕様マニュアル作成）

○女性目線での観光資源の掘り起こし、磨き上げ

○サイクリングMAP作成

○ポスター作成

○情報発信・プロモーション（動画作成、WEB広告、ターゲティング広告）

（３）事業実施主体

加須市物産観光協会

■ 補正予算額 １９，９００千円

避難場所における感染症対策

～感染予防と災害対応～

環境安全部危機管理防災課

避難場所における感染症対策として、必要な備蓄品を購入するとともに、加須西中の柔道場を避難スペースとして整備

■ 事業名

避難場所整備事業

■ 目的

大規模災害時に開設する避難場所の新型コロナウイルス感染症対策として、3密の回避や飛沫感染防止、避難者の健康管理等に対応するため、感染症対策用品を購入し、避難場所（市立小中学校全30校を含む64箇所）に備蓄します。

また、感染症対策として避難スペースの分散が必要であることから、加須西中学校の柔道場を避難スペースとして活用するため、ケガの原因にもなっている老朽化した畳を入れ替え、衛生環境を改善するものです。

■ 補正予算の概要

（1）消耗品費

○簡易式パーテーション（段ボール製） @121円×5,000枚×1.1=665,500円

・避難者7,000人に対し、1家族2名を一単位として、3,500組

・3500組×4枚=14,000枚+予備1000枚=計15,000枚

※ 5,000枚は、初動対応のため市立小中学校（全30校）に分散備蓄
残り10,000枚は、協定先等から災害時にその都度調達

○養生テープ @8,012円（税込）×60箱（30巻／箱）=480,720円

○発熱者等隔離専用スペース用トイレ用凝固剤

@11,500円×87組×1.1=1,100,550円

（2）備品購入費等

○加須西中学校柔道場の畳交換（120畳） 7,034,500円

○組立式簡易トイレ（発熱者等隔離専用スペース用）

@23,000円×87組×1.1=2,201,100円

○トイレ用テント（同上） @34,000円×87組×1.1=3,253,800円

○換気用大型送風機（防護ネット込み） @49,700円×24台×1.1=1,312,080円

○職員用雨衣 @3,600円（税込み）×750着=2,700,000円

○職員用ゴム長靴 @2,100円（税込み）×750足=1,575,000円

■ 補正予算額 20,324千円

自主防災組織における感染症対策

～感染予防と災害対応～

環境安全部危機管理防災課

地域における自主的な防災活動を促進するため、全ての自治協力団体に感染症対策用の備蓄品を整備

■ 事業名

自主防災活動組織育成・支援事業

■ 目的

大規模災害時における地域の自助・共助の基盤となる自主防災組織（154 団体）の活動を支援するとともに、未だ自主防災組織が結成されていない自治協力団体（25 団体）における組織結成を促進するため、全ての自治協力団体（179 団体）に対し、新型コロナウイルス感染症対策用の備蓄品を購入するものです。

■ 補正予算の概要

（１）消耗品費

○マスク	@2,000円×12箱	×179団体×1.1＝	4,725,600円
○消毒液	@3,000円×2本	×179団体×1.1＝	1,181,400円
○ハンドソープ	@466円×2本	×179団体×1.1＝	183,510円
○ダスター	@856円×1パック	×179団体×1.1＝	168,546円
○使い捨て手袋	@580円×1箱	×179団体×1.1＝	114,202円
○ビニールロール	@2,700円×1巻	×179団体×1.1＝	531,630円

※ 各購入数量については、定例訓練2回、避難場所訓練1回、災害時備蓄分等から算出

（２）備品購入費

○非接触型体温計	@8,000円×1箱	×179団体×1.1＝	1,575,200円
----------	------------	-------------	------------

■ 補正予算額 8,481千円

修学旅行等のキャンセル料を支援

～感染予防と生活支援～

学校教育部学校教育課

保護者の経済的な負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行等の中止・延期に伴うキャンセル料等を支援

■ 事業名

学校教育管理事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、修学旅行や林間学校等の宿泊を伴う学習を中止又は延期したことにより発生するキャンセル料等について支援し、保護者の経済的な負担軽減を図るものです。

■ 補正予算の概要

- 小学生（修学旅行、林間学校等） 1,560 千円
- 中学生（修学旅行、スキー教室等） 6,752 千円

■ 補正予算額 8,312千円

学校の牛乳保冷庫の更新

～夏休み短縮による稼働率増加に伴う学校施設の整備～

生涯学習部教育総務課

新型コロナの影響による夏休みの短縮による稼働率増加に対応し、老朽化した牛乳保冷庫を整備

■ 事業名

- ① 小学校管理運営事業
- ② 中学校管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みが短縮され、例年よりも学校に設置している牛乳保冷庫の稼働日数が増加しました。

学校に設置されている牛乳保冷庫の中には、すでに製造停止又は2020年で製造停止となるフロンを使用しているものがあり、それらはいずれも老朽化が進行し、故障するリスクがありますが、使用フロンがないため故障した場合は修繕ができません。

そこで、学校の保健衛生環境の改善を図り、子供たちが安全・安心に過ごせる教育環境を確保するため、牛乳保冷庫を整備するものです。

■ 補正予算の概要

- ① 小学校管理運営事業

牛乳保冷庫5校分（搬入及び既存品撤去費含む）

○（幅180cm）639,800円×2台分×1.1＝1,407,560円

○（幅120cm）546,500円×2台分×1.1＝1,202,300円

○（幅90cm）417,000円×1台分×1.1＝458,700円

- ② 中学校管理運営事業

牛乳保冷庫2校分（搬入及び既存品撤去費含む）

○（幅150cm）593,000円×2台分×1.1＝1,304,600円

■ 補正予算額 ① 3,069千円

② 1,305千円

小中学校の空調設備の更新

～感染予防と学校施設の整備～

生涯学習部教育総務課

空調設備の安定的な稼働により、新型コロナ感染症拡大を防止するため、老朽化した空調設備を更新

■ 事業名

- ① 小学校施設整備事業
- ② 中学校施設整備事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、新しい生活様式の中で「こまめな換気」の実践が求められており、空調設備の安定的な稼働は、安全に施設を利用するために備えるべき重要な感染予防対策です。

また、学校は避難場所として指定され、体調の悪い人や高齢者が安心して避難できる福祉避難スペースとして保健室を使用するため、適切に換気できる環境は、災害時における感染予防対策としても重要なものとなります。

学校に設置している保健室、職員室等のエアコンについては、経過年数が19年から30年以上と老朽化が進行しており、空調設備の安定的な稼働が困難な状況にあります。

そこで、特に老朽化が進行したエアコンを更新するものです。

■ 補正予算の概要

① 小学校施設整備事業

○保健室エアコン交換工事	9校分	27,382,960円
○職員室エアコン交換工事	6校分	12,938,640円

② 中学校施設整備事業

○保健室エアコン交換工事	4校分	5,306,730円
○職員室エアコン交換工事	4校分	10,003,070円
○さわやか相談室エアコン交換工事	3校分	3,333,000円

■ 補正予算額 ① 40,322千円

② 18,643千円

業務委託による幼稚園教諭の増員

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局保育幼稚園課

主任教諭が担任を兼務し、新型コロナ感染症対策のため業務がひっ迫している幼稚園4園に1名ずつ教諭を配置

■ 事業名

公立幼稚園管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症対策として、園児の密集を防ぐためには、集団を分散して保育することが望ましいところですが、人員が不足している幼稚園では困難な状況となっています。

また、施設内の消毒、管理、運営に多くの時間と労力が必要であることから、担任を兼務している主任教諭の業務がひっ迫しています。

そこで、主任教諭が担任を兼務している幼稚園4園に、安定的かつ早急に人員を確保するため、業務委託により幼稚園教諭を1名ずつ配置し、感染症対策の向上を図るものです。

■ 補正予算の概要

（1）配置園

三俣幼稚園 樋遣川幼稚園 志多見幼稚園 大越幼稚園

（2）委託の期間

令和2年9月1日（火）から令和3年3月31日（水）まで

（3）予算

2,700円／時間×1.10×7.75時間／日×141日×4名＝12,981,870円

■ 補正予算額 12,982千円

成人式の分散開催

～分散による感染症対策～

生涯学習部生涯学習課

新型コロナ感染予防のため、成人式を4施設5会場に分散して開催

■ 事業名

成人式開催事業

■ 目的

令和3年加須市成人式（令和3年1月10日（日））は、パストラルかぞの1会場に統合して開催する方針でしたが、新型コロナウイルス感染症対策として、4つの施設の5会場（パストラルかぞ大・小ホール、キャッスルきさい、北川辺みのり、大利根アスタホール）での分散開催に変更します。

なお、会場においては、手指消毒液を設置するほか、職員等がフェースシールドを装着するなど、感染対策を徹底します。

■ 補正予算の概要

（1）概要

記念品作成委託料、記念品発送のための郵便料及び成人式案内はがきの内容に感染症対策等を追記するカスタマイズ料のほか、新型コロナウイルス感染症防止対策として、フェースシールド、アルコール消毒液の購入費

（2）予算の内訳

○フェースシールド	15千円
○アルコール消毒液	8千円
○記念品作成委託料	218千円
○郵便料	22千円
○成人式案内はがきカスタマイズ委託料	344千円

■ 補正予算額 607千円

文化・学習センター使用料の還付と「キャッスルきさい」の空調設備等の更新

～コロナの影響に伴う利用自粛のための措置と感染防止対策の充実～

生涯学習部文化・学習センター

新型コロナの影響による利用自粛に伴う文化・学習センター使用料還付とキャッスルきさいの空調、換気設備の更新

■ 事業名

文化・学習センター管理運営事業

■ 目的

各文化・学習センターの施設使用料は、原則として還付しませんが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響による利用の取消しについて、全額還付するものです。

また、騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）多目的室の中央監視装置システムが老朽化しており、当該システムによる空調機能（換気を含む。）は、感染症予防のために欠かせないものであることから、更新するものです。

■ 補正予算の概要

（１）施設使用料還付金 2,959,050円

（２）中央監視装置システム更新 990,000円

■ 補正予算額 3,950千円

北川辺診療所医療従事者への支援

～エッセンシャルワーカー支援～

健康医療部医療体制推進課

感染リスクの高い患者と接触しながら、使命感を持って医療業務に従事している市立の医療機関の医療従事者等へ慰労金を支給

■ 事業名

一般管理事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、強い使命感のもと、社会生活を維持するため、感染リスクを抱えながら従事している医療従事者等へ慰労金（1 人当たり現金 5 万円）を支給するものです。

■ 補正予算の概要

（１）医療従事者等への慰労金の支給

国民健康保険北川辺診療所 10 名（医師 2 名・看護師 5 名・事務員 3 名）

（２）予算の内訳

50 千円×10 名＝ 500 千円

■ 補正予算額 500 千円 【県補助金】

財政負担：県 10/10 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金